

【新居浜市】
校務DX計画

1. 校務用PCの更新に伴う校務DX化のさらなる促進について

当市においてはWindows10のメーカーサポートが令和7年10月14日に終了するため、令和7年8月を目途に校務用PCをWindows11搭載の機種に更新する予定としている。

その際、校務用PCの更新に加え、校務系システム構築についても見直しを行い、欠席連絡等保護者連絡システムの導入やメールボックスの容量制限の解消など、実現可能なものについては改善を行い、校務に携わる教職員等が、現行より効率的で快適な環境で業務を行えるように環境構築する。

2. クラウド環境を活用した校務DX推進

校務系データについてはMicrosoft Azure（クラウドサービス）を利用して管理することで、校務用PCと授業で使用する教員用PCとのデータ連携及び学習用端末と学習用教材の連携を実現するとともに、電子黒板に提示する各種電子媒体資料等は電子黒板操作専用PC（Windows）を経由することなく、教師用PCで操作することが可能となるため教員のPC操作の負担を軽減する。一方で、校務系データには成績など機密性の高いものも多数あるため、市教育情報セキュリティポリシー改正と情報モラル教育を環境構築と同時に実施する。

3. ペーパーレス化の促進

(1) サポートファイルの共有化の検討

現在、配慮面や健康面における生徒指導情報については当市独自様式によりWordやExcelなどで個別に作成、各学校でペーパーで出力し保存している。

来年度、統合型校務支援システムを更新するにあたり、文部科学省が示す標準様式を実装し、運用可能な場合はペーパーレス化、小学校から中学校への情報連携の効率化を実現する。一方で、標準様式がこれまでの様式と比べて必要十分な入力項目となっているか、足りない項目がある場合は備考欄で補う等で運用において支障がないかの検証については、今後、関係部署や各学校担当者の確認等が必要である。

(2) FAX及び押印の見直し

各小中学校、市教育委員会及び教育事務所等県教育委員会相互での文書連絡、資料送付等については可能な限り押印廃止し電子化、その手段もメール、グループウェアなど場面によって使い分けする運用を推進する。

緊急時、システムの不具合等、FAXによる送信が最も効率的な連絡手段となる場合、連

絡手段が電話もしくは FAX のみの学校外の関係者との連絡を除き、FAX は原則使用しないこととする。

4. 欠席連絡等保護者連絡システムの導入

現在、欠席連絡については、各学校が無料のメール連絡網アプリや電話等による直接連絡により対応している。また、各学校からの保護者等へのお知らせ文書についても、プリントの手渡しなどによる方法で行っている。

校務用 PC（端末）の更新に伴う校務系システム構築の中で、欠席連絡等保護者連絡システムの導入を行い、欠席連絡、そのデータの校務支援システムとの連携、保護者等へのお知らせ文書の配付等をすべて D X 化し、業務の効率化を図る。